

申請書等様式の記入イメージ

事業参加を希望する酪農経営体が記入する計画記入例

別記様式第2号（第10の2の（1）関係）

酪農経営改善緊急支援事業における生乳生産抑制計画

令和5年1月〇日

〇〇農業協同組合 殿

酪農経営改善緊急支援事業実施要領（令和〇年〇月〇日付け〇畜産第〇〇号農林水産省畜産局長通知）第10の2の（1）の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

1 助成対象者

経営区分	酪農・法人	個人経営／法人経営
氏名又は法人・組織名	フリガナ セイニュウ タロウ	
	生乳 太郎	
代表者氏名 (法人・組織の場合)	フリガナ カブシキカイシャ ラクノウケイエイ	
	株式会社 酪農経営	
郵便番号・住所	〒〇〇〇-▲▲▲▲▲ 〇〇県□□市××町△-▲	
連絡先	(電話番号／電子メール) 090-〇〇〇〇-×××× seinyutaou@email.co.jp	

2 (独) 家畜改良センターへの農家マスタ登録内容

牛個体識別に係る 管理者等コード番号	氏名	住所
0000××0000	株式会社 酪農経営	〇〇県□□市××町△-▲
××99999999	株式会社 酪農経営第2牧場	〇〇県□□市◎◎町×
複数の管理者コードを所有している場合はすべて記載		

注1) 複数の登録がある場合は、全て記載すること。また、組織で参加する場合は、別途全ての構成員について記載すること。

注2) 取組主体が本事業の遂行のために牛個体識別情報の提供を行う場合は、「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別データ利用規程」第4条の（3）の規定に基づき、別途、取組主体が準備した同意書の提供に協力すること。

3 本事業の対象となる低能力牛削減頭数及び奨励金額

令和4年10月1日時点の経産牛頭数(頭)	削減期間	低能力牛削減頭数(頭) ①	奨励金単価(円/頭) ②	奨励金額(円) ③ (①×②)	うち生産者等拠出額(円)
120	令和5年3月から9月まで	5	200,000	1,000,000	250,000
第1次取組(R5.3.~R5.9)の削減頭数等を記載					

低能力牛と判断した理由

経産牛120頭のうち、うち2頭については48か月齢を超えており、1頭あたりの年間搾乳量が7.5トンを下回っており、うち3頭については令和4年度から採食量が低下しており、搾乳量が前年度より1トン以上下回った。

4 成果目標

(令和5年度)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
令和5年度削減頭数		3	2	—	—	5
生乳全出荷量	基準 ①	270,000L	540,000L	810,000L	1,080,000L	1,080,000L
	令和5年度 ②	264,000L	521,000L	781,500L	1,042,000L	1,042,000L
生乳出荷抑制量 ① - ②		6,000L	19,000L	28,500L	38,000L	38,000L
それぞれ四半期ごとに累計を記載。						

※①の基準については令和3年10月から令和4年9月までの生乳全出荷量とし、各四半期の生乳全出荷量については、それぞれ基準量の1/4、2/4、3/4、4/4を記載すること。

※令和5年度の生乳全出荷量については、各四半期ごとに累計を記載すること。

※令和5年度削減頭数については、令和5年3月に削減した場合は、令和5年度第1四半期の削減頭数に計上すること。

(令和6年度)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
生乳全出荷量	令和5年度 ①	264,000L	521,000L	781,500L	1,042,000L	1,042,000L
	令和6年度 ②	260,000L	520,000L	780,000L	1,040,000L	1,040,000L
生乳出荷抑制量 ① - ②		4,000L	1,000L	1,500L	2,000L	2,000L

それぞれ四半期ごとに累計を記載。

※各四半期ごとに累計を記載すること。

農協等取組主体が記入する計画記入例

別記様式第3号（第10の2の（2）関係）

番 号
年 月 日

（事業実施主体の長） 殿

住所 ○○県□□市▲町 A-B
（法人名） ○○農業協同組合
代表者氏名 農協 次郎

生乳生産抑制計画の承認について

生乳生産抑制計画について、酪農経営改善緊急支援事業実施要領（令和○年○月○日付け4畜産第○○号農林水産省畜産局長通知）第10の2の（2）の規定に基づき、関係書類を添えて（変更）承認申請します。

（注） 関係書類として別添を添付すること。

1 取組主体の概要

取組主体名	〇〇農業協同組合	
住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市▲町 A-B TEL (XXX) XXX-XXXX FAX (000) 000-0000	
代表者氏名	農協 次郎	
事業参加者数	50	

2 (独) 家畜改良センターへの農家マスタ登録内容

牛個体識別に係る 管理者等コード番号	氏名	住所
0000××0000	株式会社 酪農経営	〇〇県〇〇市××町△-▲
××99999999	株式会社 酪農経営第2牧場	〇〇県〇〇市◎◎町×
9999999□□□	酪々牧場	〇〇県××市▲▲2丁目◎
□□0000077444	農事組合法人 ××生産組合	〇〇県〇〇郡□□村×字▲

注1) 複数の登録がある場合は、全て記載すること。また、組織で参加する場合は、別途全ての構成員について記載すること。

注2) 取組主体が本事業の遂行のために牛個体識別情報の提供を行う場合は、「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別データ利用規程」第4条の(3)の規定に基づき、別途、取組主体が準備した同意書の提供に協力すること。

3 本事業の対象となる低能力牛削減頭数及び奨励金額

令和4年10月1日 時点経産牛頭数(頭)	削減期間	低能力牛削減 頭数(頭) ①	奨励金単価 (円/頭) ②	奨励金額 (円) ③ (①×②)	うち生産者等拠 出金(円) ③
2,560	令和5年3月 から9月まで	100	200,000	20,000,000	5,000,000

4 成果目標

(令和5年度)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
令和5年度 削減頭数		75	25	—	—	100
生乳全 出荷量	基準 ①	5,400t	10,800t	16,200t	21,600t	21,600t
	令和5年度 ②	5,280t	10,410t	15,615t	20,840t	20,840t
生乳出荷 抑制量 ① - ②		120t	390t	585t	780t	760t

※①の基準については令和3年10月から令和4年9月までの生乳全出荷量とし、各四半期の生乳全出荷量については、それぞれ基準量の1/4、2/4、3/4、4/4を記載すること。

※令和5年度の生乳全出荷量については、各四半期ごとに累計を記載すること。

※令和5年度削減頭数については、令和5年3月に削減した場合は、令和5年度第1四半期の削減頭数に計上すること。

(令和6年度)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
生乳全 出荷量	令和5年度 ①	5,280t	10,410t	15,615t	20,840t	20,840t
	令和6年度 ②	5,200t	10,000t	15,000t	20,000t	20,000t
生乳出荷抑制量 ① - ②		80t	410t	615t	840t	840t

※各四半期ごとに累計を記載すること。

別添の参考資料

1 奨励金の内訳

番号	参加者名	市町村名	低能力牛削減頭数（頭）		奨励金の内訳（千円）			生産者 拠出分
			R5.9まで ①	計	補助金額		計	
					R5.9まで (①×150)			
1	(株) 酪農経営	□□市××町	5	5	750,000		750,000	250,000
2	酪々牧場	××市▲▲2丁目	12	12	1,800,000		1,800,000	600,000
3	(農) ××生産組合	□□村×字	25	25	3,750,000		3,750,000	1,250,000

2 削減頭数の内訳（令和5年度）

番号	第1四半期	第2四半期			計
1	3	2			5
2	7	5			12
3	21	4			25

※令和5年3月に削減した頭数は、令和5年度第1四半期に計上すること。

3 生乳全出荷量

(1) 基準量と令和5年度との比較

番号	基準量 (KL)					生乳全出荷量 (令和5年度 (KL))				
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	計	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	計
1	270,000	540,000	810,000	1,080,000	1,080,000	264,000	521,000	781,500	1,042,000	1,042,000
2										
3										

※各四半期ごとに累計を記載すること。

※基準量とは、各酪農経営体における令和3年10月から令和4年9月までの生乳全出荷量を指し、各四半期の生乳全出荷量については、それぞれ基準量の1/4、2/4、3/4、4/4を記載すること。

(2) 令和5年度と令和6年度との比較

番号	生乳全出荷量（令和5年度）					生乳全出荷量（令和6年度）				
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	計	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	計
1	264,000	521,000	781,500	1,042,000	1,042,000	260,000	520,000	780,000	1,040,000	1,040,000
2										
3										

※各四半期ごとに累計を記載すること。

(3) 合計

番号	生乳出荷量（KL）			生乳出荷抑制量（KL）				摘要
	基準量 ①	令和5年度 ②	令和6年度 ③	令和5年度		令和6年度		
				削減量 ④ (①-②)	1頭当たり ⑤ (④/A)	削減量 ⑥ (①-③)	1頭当たり ⑦ (⑥/A)	
1	1,080,000	1,042,000	1,040,000	38,000	7,600	2,000	400	
2								
3								
					1頭当たり7.5t (7,500KL)以上 削減しているか 確認。		R6はゼロ 以上か確 認。	

※ 生乳出荷量の基準量については令和3年10月から令和4年9月までとする。

※ 1頭あたりの出荷抑制量について、令和5年3月に削減した頭数については、計上しないこと。

酪農経営体が提出する進捗状況の記入例（令和5年度第3四半期を例える）

別記様式第4号（第10の3の（1）関係）

生乳生産抑制計画進捗状況報告（令和5年度第3四半期）

令和6年1月〇日

〇〇農業協同組合 殿

氏名（法人名） 株式会社 酪農経営
住所 〇〇県〇〇市××町△-▲

酪農経営改善緊急支援事業実施要領（令和〇年〇月〇日付け〇畜産第〇〇〇〇号農林水産省畜産局長通知）第10の3の（1）の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

1. 低能力牛の削減状況

（単位：頭）

	令和5年度				計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
計画	3	2	0	0	5
実績	2	1	1		

※実績については、低能力牛を食肉出荷したことを証する書類を添付すること。

実績は計画内であることを確認すること。（上記は×）

2. 生乳出荷量の状況

（単位：L）

基準量	令和5年度				計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1,080,000	262,000	501,000	740,000		
（対前年同期比）	（98.5%）	（98.2%）	（97.4%）	（ % ）	

取組主体が提出する進捗状況の記入例（令和5年度第3四半期を例える）

別記様式第5号（第10の3の（2）関係）

生乳生産抑制計画進捗状況報告（令和5年度第3四半期）

令和6年1月〇日

事業実施主体の長 殿

取組主体名 ○○農業協同組合
 代表者氏名 農協 次郎
 住所 ○○県□□市▲町A-B

酪農経営改善緊急支援事業実施要領（令和〇年〇月〇日付け〇畜産第〇〇〇〇号農林水産省畜産局長通知）第10の3の（2）の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

1. 低能力牛の削減状況

（単位：頭）

	令和5年度				計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
計画	75	25	30	20	150
実績	75	20	29		

※実績については、低能力牛を食肉出荷したことを証する書類を添付すること。

2. 生乳出荷量の状況

（単位：トン）

基準量	令和5年度				計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
21,600	5,288	10,380	15,098		
（対前年同期比）	（99.9%）	（94.8%）	（95.3%）	（ % ）	